

目的ベースのまちづくり活動

⑬ ボランティアは心の満足 ～よろずボランティアたんぽぽ～

よろずボランティアたんぽぽは、「たんぽぽのように、気軽に飛んでいって、少しは人の手助けをしよう。」を合言葉に向島町内を中心に困りごとを解決するお手伝いをしています。

きっかけは？

市社協が開催したボランティア養成講座の受講者8人がこの会を立ち上げました。その後も開催された講座の受講者が入会し、現在20人程度で活動しています。

講座受講のきっかけは、もともとボランティアに興味があったという人もいれば、「特に特技はないのだけれど、退職したので何か地域に役に立てるかな？」という思いで受講したという人もいます。

どんなことをしていますか？

市社協に、手伝ってほしいことの依頼が寄せられます。その依頼にもとづいて、できる人が活動します。定期的に行っているのは、特別養護老人ホーム橘花苑の空調・窓・網戸の掃除や、市民センター向島近くの植栽管理、他のボランティア団体と共に小中学校へ出向いて介護や車イスの体験学習などを行っています。一人暮らしの高齢者のお宅へ出向いて、掃除をしたこともあります。

「よろず」というと、あらゆる能力があるように思われるかもしれませんが、特にありません。

「できることを、できるときに、できるだけ。」をモットーにしています。無理をしないことが活動が続いている理由の一つだと思っています。



三幸小学校での体験学習



あいセンターでの植栽ボランティア

よかったことは？

「ありがとう。」「ようやってくれたねえ。」「助かったよ。」と感謝の言葉をいただくときです。人が満足する理由はいろいろあると思いますが、ボランティアは心の満足を得ることができます。お金を出しても買えない満足です。

また、この会は会員の出席率がとてもよいのが自慢です。会員みんなが良く働き、絶えず笑いがあり、活動自体を楽しんでいます。

これから・・・

ボランティアは心の満足が得られると同時に仲間づくりの機会にもなります。

仕事や近所といった普段の生活では知り合えない人と仲間になって活動することで知らなかった世界を知ることでもできます。

たった一人でも道端のごみを拾えば、ボランティアの第一歩だと思います。そこから心の満足と仲間が広がります。気軽に、身近なことからボランティアに関わっていける人を増やしていきたいと思っています。